

事前課題 「事例検討会報告様式」作成要領

次の内容を確認いただき、事前課題「事例検討会報告様式」を作成してください。

本様式の提出がない場合、研修に参加できませんので予めご了承ください。

- I 実践研修「人材育成の手法に関する講義及び演習」の単元「実地教育としての事例検討の進め方の理解」で受講者各自が作成した「事例検討会報告様式」を用いて演習を行います。
- II 記入事例は、可能な限り、現現場での継続事例（現在、支援を行っているケース）で作成をお願いします。難しい場合は、終了事例（過去に支援を行ったケース）でもよいです。
※ただし、いずれの場合であってもご自身が直接担当している事例をご記入ください。
- III 記入について（個人情報の観点から、個人情報を匿名化する）
厚生省「医療・介護事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（2004年12月）によると、個人情報の含まれる氏名、住所等、個人を識別する情報を取り除くことで、特定の個別を識別できないようにすれば個人情報の匿名化が可能であるとしています。
※個人情報の観点から、本事例検討会報告様式では次のとおり記載し、事例の匿名化をお願いします。

【記入方法】

- ①氏名や特定の地名、支援機関や施設名等は仮名（アルファベット等の標記）とする。
例 氏名 A氏 支援機関 B事業所 地域 C市 D町 等
- ②年齢は〇〇歳代（前半・後半）とする。
例 20歳代前半 50歳代後半 等
- ③病名、既往歴は事例の状態像を把握するために必要不可欠なもののみとする
- ④支援経過の日付は、事例展開に必要な不可欠なもののみとし、（例 R5年3月頃 3年前等）と記載する。

『ジェノグラム』

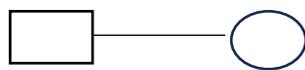
クライアントの家庭状況を把握する為、家族構成を図式化して書き出すことにより、クライアントが抱える悩みや課題をお解決する一助として役立つマッピング技法の一つである。

※以下の基本図形を用意、作成してください。

男性 □ 女性 ○ で表記します。 生命（他界） ■ ● で表記します。

本人は、男性  女性  で表記します。

婚姻関係は以下のように線で表記します。

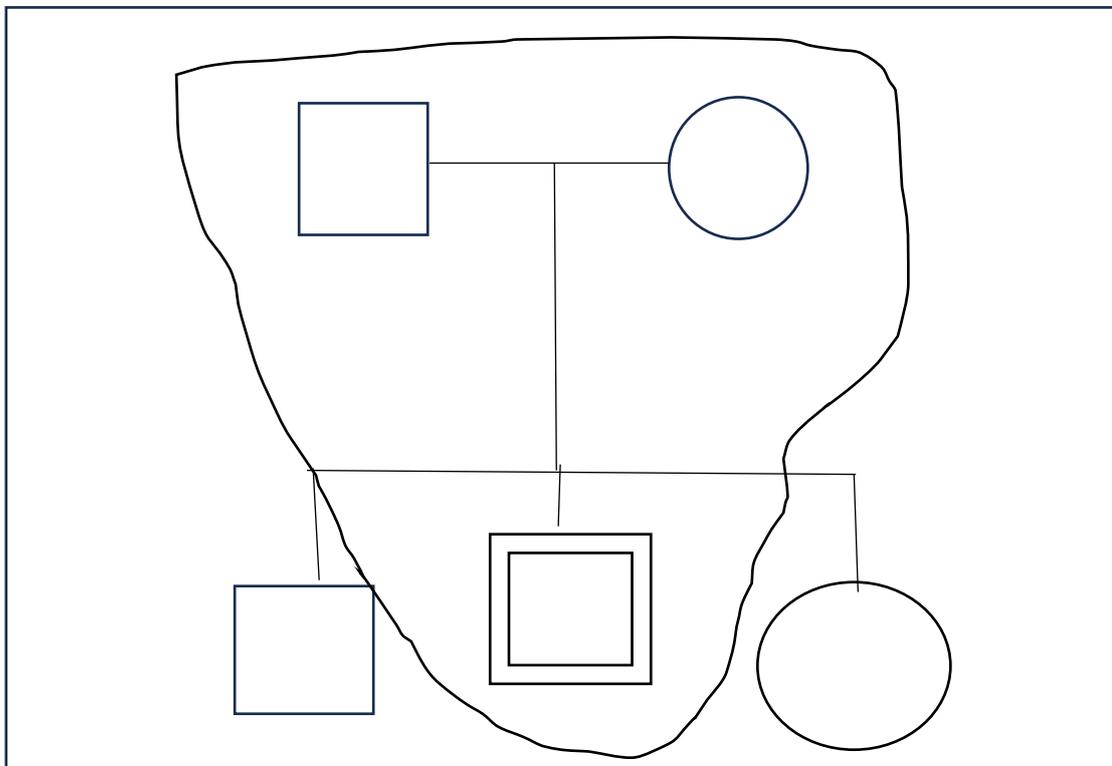


婚姻関係の場合



離婚・別居の場合

例) 男性 A 氏は、両親と 3 人暮らし。兄と妹がいるが、別居している。このジェノグラムは、以下ようになります。 ※手書き線は、同居家族を表しています。



『エコマップ』

クライアントを中心に、家族や福祉サービスなどの社会資源を図式化して描き出すことにより、ケースを取り巻く、ソーシャルサポートネットワークを視覚的に把握することができるマッピング技法の一つである。

例) C市在住のケース A氏は、〇〇グループホームで生活し、日中は〇〇生活介護事業所で生活している。また〇〇相談事業所がサービス等利用計画を担当。家族では、両親と姉がいる。休日にFボランティアグループと外出している。

